

東京薬事協会とくすりの適正使用協議会が協力し 中央区・千代田区の小学4～6年生に、薬の小冊子を配布

公益社団法人 東京薬事協会(東京・中央区、会長:岩城 修)は、一般社団法人 くすりの適正使用協議会(東京都・中央区、理事長:俵木 登美子、以下協議会)の協力のもと、本年5月下旬、東京都中央区および千代田区的全小学校の4～6年生および教職員、計4,632名に、協議会等が2017年10月に作成した小冊子「くすりは正しく使ってこそくすり!」を配布しました。

協議会の調査では、小学校に薬を持参する児童は20%に達し、お茶やコーラでの薬の服用経験がある児童は48%、さらには自己判断で薬を使用したことがある児童は17%に上っています(次頁グラフ参照)。



今回配布した中央区・千代田区では、小学校4年生の6月頃より初めての宿泊学習が始まりますが、宿泊学習においては上記のような薬の正しくない使用に加え、乗り物の酔い止め薬等の児童同士の薬のやり取り等も懸念されます。

そこで、両団体の所在地である東京都中央区と、隣接区である千代田区にて、小学校の宿泊学習の事前指導等に役立ててもらうことを目的に、5月下旬に小冊子の配布を行いました。



今回配布した小冊子が各小学校で活用され、子供たちの薬の知識向上と適正使用が少しでも定着することを期待しています。

*小冊子について:文部科学省の協力を得、公益社団法人 日本薬剤師会と協議会が共同で制作し、2017年10月に公開したもので、学習指導要領に基づき中学校で行われている医薬品の教育内容に準じています。また、4コマ漫画やイラストを多用し、自然治癒力の重要性やカラーコンタクトレンズなど、生徒に身近なトピックも盛り込み、授業で取り上げやすいように工夫しています。協議会ホームページからはパワーポイント版のダウンロードもできるなど、学校の授業等で楽しく薬の基礎が学べる教材となっています。

【本件に関するお問い合わせ】

◆公益社団法人 東京薬事協会 岡根

TEL:03-3279-1300 FAX:03-3242-1994 MAIL:okane@yakujikyo.or.jp

◆一般社団法人 くすりの適正使用協議会 山崎/安井

TEL:03-3663-8891 FAX:03-3663-8895 MAIL:info@rad-ar.or.jp

参考資料

配布部数の詳細

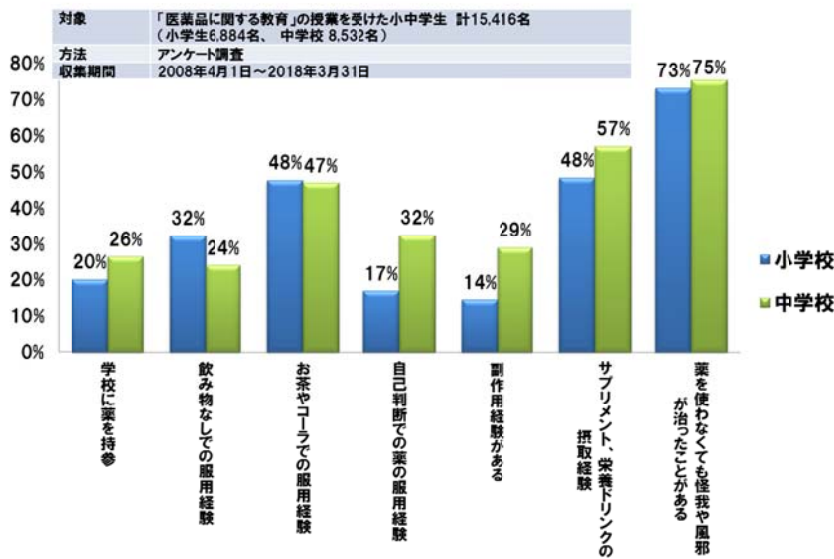
・中央区立小学校 16校、生徒および教職員等へ 3,490部

・千代田区立小学校 8校、生徒および教職員等へ 1,610部

※それぞれ予備部数を含む

小中学生の薬の使用実態

小中学生の薬の使用実態



小冊子「くすりは正しく使ってこそくすり！」

小冊子 PDF 版およびパワーポイント版のダウンロード <http://www.rad-ar.or.jp/use/kusuri-gb/>

公益社団法人 東京薬事協会について

公益社団法人 東京薬事協会は創立 134 年を迎え公益社団法人としては 7 年目にあたり、現在の業種・業態・規模を超えた会員のご協力により、継続的に都民のための「薬業の向上発展に関する調査・研究」「地域社会に対する薬事知識の啓発」「薬事に関する講習会などの開催」「奨学金の給付」などの事業を積極的に推進し、公益事業を拡充しております。また、共助の精神を以て身の丈に合った相応しい事業に努めております。

公益社団法人 東京薬事協会ホームページ <http://www.yakujikyo.or.jp>

一般社団法人 くすりの適正使用協議会について

一般社団法人 くすりの適正使用協議会は、くすりのリスクとベネフィットを検証し、社会に提示することで患者さんのメリットに寄与することを目的に、1989年に当時の研究開発指向型製薬企業 11社によって設立されました。創設当初より、医薬品の本質を評価する学問「薬剤疫学」の普及、医薬品適正使用情報「くすりのしおり®」の提供など、医薬品の本質の理解促進と正しい使い方の啓発活動を行ってまいりました。2012年度からは「医薬品リテラシーの育成と活用」をキーコンセプトに活動を行っています。

※製薬企業会員 23社、賛助会員 6社・1団体、個人会員 6名、特定会員 173社

一般社団法人 くすりの適正使用協議会ホームページ <http://www.rad-ar.or.jp>

くすり教育ホームページ <http://www.rad-are.com/>

以上